

第133回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和8年1月～3月期

2026年3月、日銀短観では、大企業製造業の業況判断D Iは+17%ポイント（前回比+1%ポイント）と、円安進行やAI関連需要等が景気を下支えした。

トラック運送業界においては、今期、中東情勢の影響による燃料調達への不安、燃料価格高騰への懸念がマイナス要因として作用し、景況感は前回▲22.4から▲29.4へ7.0ポイント悪化した。

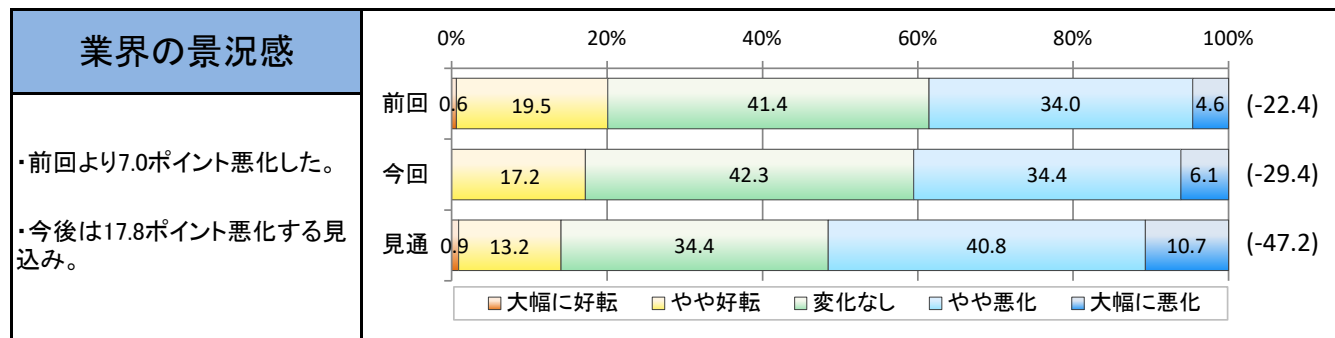
なお、来期の見通しは、軽油引取税の暫定税率（1リットル17.1円）が4月1日に廃止されたものの、中東情勢の影響による燃料調達への不安や燃料価格高騰への懸念を織り込み、景況感は今回▲29.4から▲47.2へ17.8ポイント悪化する見込みである。

令和8年5月22日

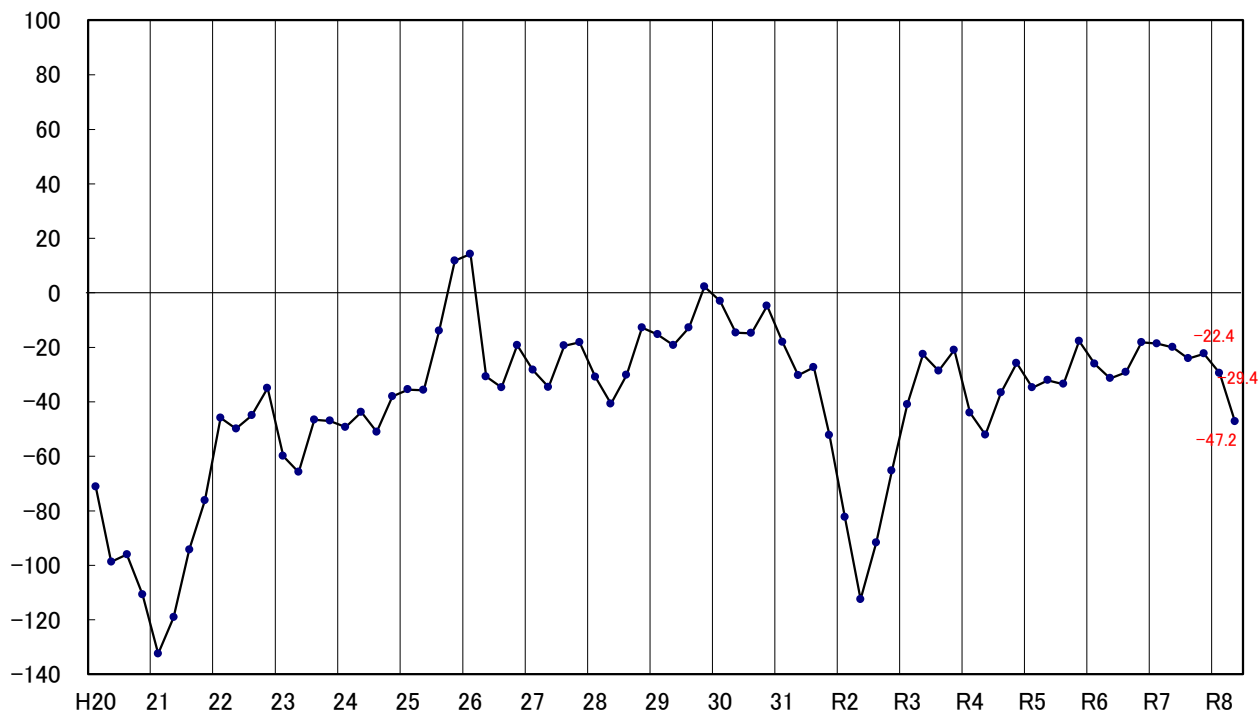
公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感:今回(令和8年1月～3月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	・今期、中東情勢の影響による燃料調達への不安、燃料価格高騰への懸念がマイナス要因として作用し、景況感は前回▲22.4から▲29.4へ7.0ポイント悪化した。
今後の見通し	・来期の見通しは、軽油引取税の暫定税率(1リットル17.1円)が4月1日に廃止されたものの、中東情勢の影響による燃料調達への不安や燃料価格高騰への懸念を織り込み、景況感は今回▲29.4から▲47.2へ17.8ポイント悪化する見込みである。



トラック運送業界の景況感(業況判断DI)の推移



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R7.10月～12月期)の状況、中段は今回(R8.1月～3月期)の状況、下段は今後(R8.4月～6月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

$$A(\text{設問Aの回答者数}) = a1+a2+a3+a4+a5(\text{設問Aの選択肢1～5の回答数の和})$$

$$\text{指標} = \{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$$

2 共通の概況①:今回(令和8年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲7.1(前回▲13.7)と6.6ポイント改善、実車率は▲9.8(前回▲7.5)と2.3ポイント悪化した。 ・運転者の採用動向は▲1.5(前回▲11.8)と10.3ポイント上昇、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は88.0(前回89.4)と1.4ポイント低下した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・実働率は▲19.3(今回▲7.1)と12.2ポイント悪化、実車率は▲18.7(今回▲9.8)と8.9ポイント悪化する見込みである。 ・運転者の採用動向は▲15.0(今回▲1.5)と13.5ポイント低下し、運転者の雇用動向は95.4(今回88.0)と7.4ポイント上昇し、労働力の不足感は上昇し、労働力の不足感は強くなる見込みである。

実働率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.6 18.0 52.2 25.5 3.7 (-13.7)</p> <p>今回 18.7 57.4 22.1 1.8 (-7.1)</p> <p>見通 15.0 55.5 24.5 4.9 (-19.3)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・前回より6.6ポイント改善した。</p> <p>・今後は12.2ポイント悪化する見込み。</p>	
実車率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 16.8 62.1 18.0 3.1 (-7.5)</p> <p>今回 16.0 59.5 23.3 1.2 (-9.8)</p> <p>見通 14.4 56.7 24.5 4.3 (-18.7)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・前回より2.3ポイント悪化した。</p> <p>・今後は8.9ポイント悪化する見込み。</p>	
運転者の採用動向	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 21.1 51.6 21.7 5.6 (-11.8)</p> <p>今回 0.6 20.9 59.8 13.8 4.9 (-1.5)</p> <p>見通 13.8 63.5 16.6 6.1 (-15.0)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
<p>・前回より10.3ポイント上昇した。</p> <p>・今後は13.5ポイント低下する見込み。</p>	
運転者の雇用動向 (労働力の不足感)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 19.9 51.6 26.7 1.9 (89.4)</p> <p>今回 21.5 45.7 32.2 0.6 (88.0)</p> <p>見通 25.8 45.7 26.7 1.8 (95.4)</p> <p>■ 不足 ■ やや不足 ■ 適当 ■ やや過剰 ■ 過剰</p>
<p>・前回より1.4ポイント低下した(不足感が弱くなった)。</p> <p>・今後は7.4ポイント上昇する見込み。</p>	

(注4)雇用状況については、上段は前回(R7.10月～12月期)の状況、中段は今回(R8.1月～3月期)の状況、下段は今後(R8.4月～6月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②:今回(令和8年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲25.8(前回▲26.1)と0.3ポイント増加、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲10.4(前回▲11.2)と0.8ポイント増加した。 経常損益は、中東情勢悪化に伴う燃料価格高騰を背景に運送原価が上昇し、▲20.2(前回▲8.1)と12.1ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲32.5(今回▲25.8)と6.7ポイント減少し、貨物の再委託は▲17.2(今回▲10.4)と6.8ポイント減少する見込みである。 経常損益は、中東情勢悪化による燃料価格高騰によるコストアップを織り込み、▲41.7(今回▲20.2)と21.5ポイント悪化する見込みである。

所定外労働時間	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.2 26.2 62.1 26.1 4.3 (-26.1)</p> <p>今回 0.6 67.7 60.1 28.5 3.1 (-25.8)</p> <p>見通し 6.7 59.5 28.2 5.5 (-32.5)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.2 17.4 56.5 18.6 6.2 (-11.2)</p> <p>今回 1.2 15.3 58.9 20.9 3.7 (-10.4)</p> <p>見通し 0.9 14.4 56.1 23.6 4.9 (-17.2)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
経常損益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 29.2 39.8 24.8 6.2 (-8.1)</p> <p>今回 24.5 38.0 30.1 7.4 (-20.2)</p> <p>見通し 16.0 35.6 39.3 9.2 (-41.7)</p> <p>■ 大幅に好転 ■ やや好転 ■ 変化なし ■ やや悪化 ■ 大幅に悪化</p>

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第133回調査は、令和8年4月1日に、モニターに対して調査開始、令和8年4月30日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
68	421	472

4 一般貨物:今回(令和8年1月~3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲19.6(前回▲10.6)と9.0ポイント悪化、運賃・料金の水準は24.1(前回41.7)と17.6ポイント悪化したことから、営業収入(売上高)は▲11.4(前回5.3)と16.7ポイント悪化した。 営業利益は、▲27.2(前回▲5.3)と21.9ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲20.9(今回▲19.6)と1.3ポイント悪化、運賃・料金の水準は22.2(今回24.1)と1.9ポイント悪化することから、営業収入(売上高)は▲22.2(今回▲11.4)と10.8ポイント悪化する見込みである。 営業利益は、燃料調達への不安や燃料価格高騰に係る不透明感を色濃く反映し、▲39.2(今回▲27.2)と12.0ポイント悪化する見込みである。

輸送数量																													
<p>・前回より9.0ポイント悪化した。</p> <p>・今後は1.3ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>25.8</td> <td>43.0</td> <td>25.8</td> <td>5.3</td> <td>(-10.6)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>20.3</td> <td>44.3</td> <td>31.0</td> <td>4.4</td> <td>(-19.6)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.0</td> <td>20.3</td> <td>44.3</td> <td>29.7</td> <td>5.7</td> <td>(-20.9)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	25.8	43.0	25.8	5.3	(-10.6)	今回	0.0	20.3	44.3	31.0	4.4	(-19.6)	見通し	0.0	20.3	44.3	29.7	5.7	(-20.9)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	25.8	43.0	25.8	5.3	(-10.6)																							
今回	0.0	20.3	44.3	31.0	4.4	(-19.6)																							
見通し	0.0	20.3	44.3	29.7	5.7	(-20.9)																							
運賃・料金の水準																													
<p>・前回より17.6ポイント悪化した。</p> <p>・今後は1.9ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>47.0</td> <td>48.3</td> <td>4.0</td> <td>0.7</td> <td>(41.7)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>36.1</td> <td>53.2</td> <td>9.5</td> <td>1.3</td> <td>(24.1)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.6</td> <td>32.3</td> <td>57.6</td> <td>7.6</td> <td>1.9</td> <td>(22.2)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回	0.0	47.0	48.3	4.0	0.7	(41.7)	今回	0.0	36.1	53.2	9.5	1.3	(24.1)	見通し	0.6	32.3	57.6	7.6	1.9	(22.2)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回	0.0	47.0	48.3	4.0	0.7	(41.7)																							
今回	0.0	36.1	53.2	9.5	1.3	(24.1)																							
見通し	0.6	32.3	57.6	7.6	1.9	(22.2)																							
営業収入(売上高)																													
<p>・前回より16.7ポイント悪化した。</p> <p>・今後は10.8ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>2.0</td> <td>33.1</td> <td>39.7</td> <td>18.5</td> <td>6.6</td> <td>(5.3)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.6</td> <td>25.3</td> <td>41.1</td> <td>27.8</td> <td>5.1</td> <td>(-11.4)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.6</td> <td>21.5</td> <td>40.5</td> <td>29.7</td> <td>7.6</td> <td>(-22.2)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	2.0	33.1	39.7	18.5	6.6	(5.3)	今回	0.6	25.3	41.1	27.8	5.1	(-11.4)	見通し	0.6	21.5	40.5	29.7	7.6	(-22.2)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	2.0	33.1	39.7	18.5	6.6	(5.3)																							
今回	0.6	25.3	41.1	27.8	5.1	(-11.4)																							
見通し	0.6	21.5	40.5	29.7	7.6	(-22.2)																							
営業利益																													
<p>・前回より21.9ポイント悪化した。</p> <p>・今後は12.0ポイント悪化する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.3</td> <td>28.5</td> <td>39.7</td> <td>24.5</td> <td>6.0</td> <td>(-5.3)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>19.0</td> <td>43.0</td> <td>29.7</td> <td>8.2</td> <td>(-27.2)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.6</td> <td>15.2</td> <td>39.2</td> <td>34.2</td> <td>10.8</td> <td>(-39.2)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.3	28.5	39.7	24.5	6.0	(-5.3)	今回	0.0	19.0	43.0	29.7	8.2	(-27.2)	見通し	0.6	15.2	39.2	34.2	10.8	(-39.2)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.3	28.5	39.7	24.5	6.0	(-5.3)																							
今回	0.0	19.0	43.0	29.7	8.2	(-27.2)																							
見通し	0.6	15.2	39.2	34.2	10.8	(-39.2)																							

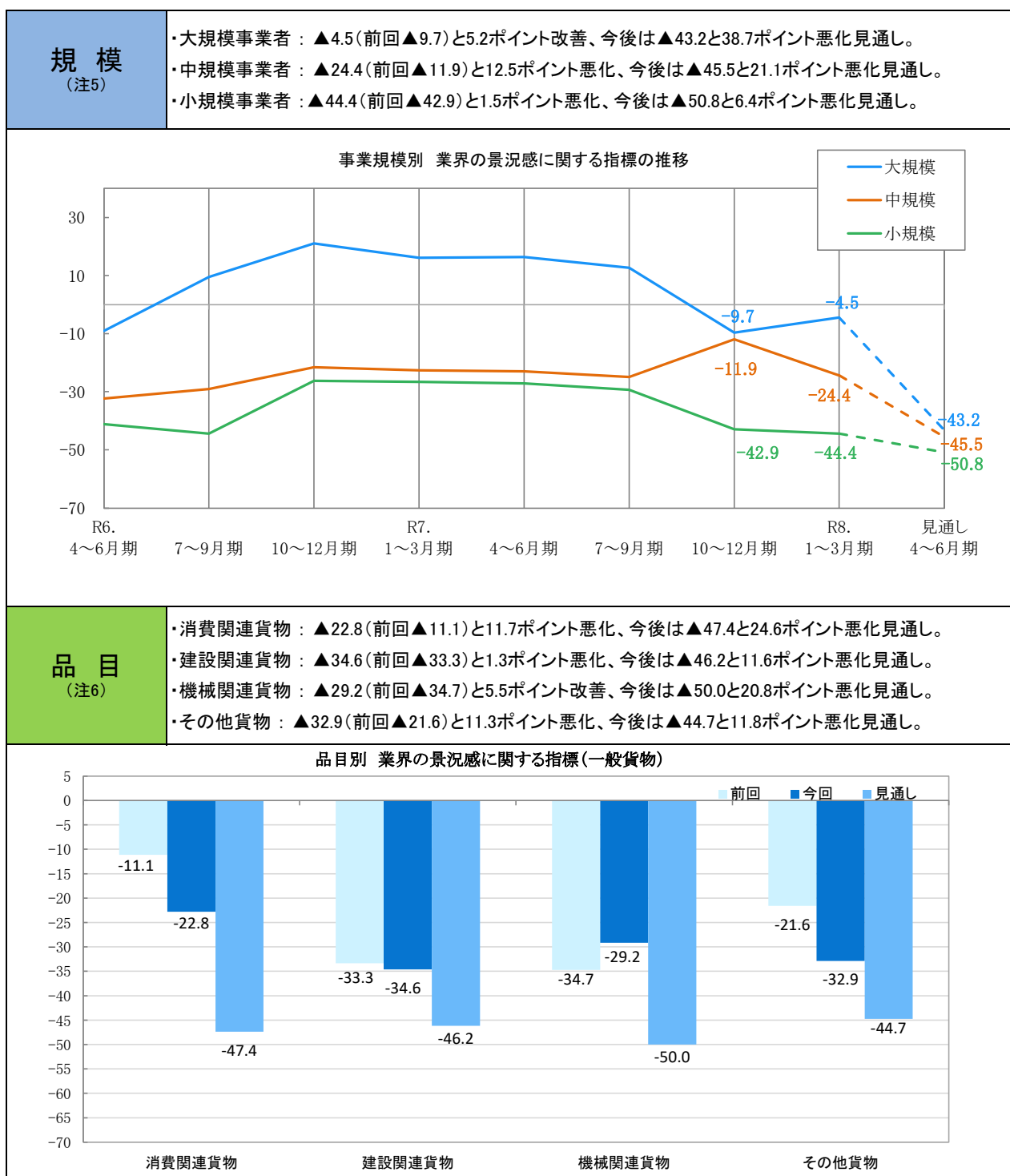
5 特積貨物:今回(令和8年1月～3月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 特積貨物では、輸送数量は▲21.4(前回▲28.0)と6.6ポイント改善、運賃・料金の水準は50.0(前回36.0)と14.0ポイント改善し、営業収入(売上高)は7.1(前回4.0)と3.1ポイント改善した。 営業利益は▲7.1(前回▲12.0)と4.9ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 特積貨物では、輸送数量は▲17.9(今回▲21.4)と3.5ポイント改善するものの、運賃・料金の水準は28.6(今回50.0)と21.4ポイント悪化することから、営業収入(売上高)は▲14.3(今回7.1)と21.4ポイント悪化する見込みである。 営業利益は▲14.3(今回▲7.1)と7.2ポイント悪化する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>12.0</td> <td>52.0</td> <td>32.0</td> <td>4.0</td> <td>(-28.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>14.3</td> <td>50.0</td> <td>35.7</td> <td>0.0</td> <td>(-21.4)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.0</td> <td>14.3</td> <td>53.6</td> <td>32.1</td> <td>0.0</td> <td>(-17.9)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	12.0	52.0	32.0	4.0	(-28.0)	今回	0.0	14.3	50.0	35.7	0.0	(-21.4)	見通	0.0	14.3	53.6	32.1	0.0	(-17.9)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	12.0	52.0	32.0	4.0	(-28.0)																							
今回	0.0	14.3	50.0	35.7	0.0	(-21.4)																							
見通	0.0	14.3	53.6	32.1	0.0	(-17.9)																							
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>40.0</td> <td>56.0</td> <td>4.0</td> <td>0.0</td> <td>(36.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>(50.0)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.0</td> <td>35.7</td> <td>57.1</td> <td>7.1</td> <td>0.0</td> <td>(28.6)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回	0.0	40.0	56.0	4.0	0.0	(36.0)	今回	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	(50.0)	見通	0.0	35.7	57.1	7.1	0.0	(28.6)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回	0.0	40.0	56.0	4.0	0.0	(36.0)																							
今回	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	(50.0)																							
見通	0.0	35.7	57.1	7.1	0.0	(28.6)																							
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>28.0</td> <td>52.0</td> <td>16.0</td> <td>4.0</td> <td>(4.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>28.6</td> <td>50.0</td> <td>21.4</td> <td>0.0</td> <td>(7.1)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.0</td> <td>28.6</td> <td>28.6</td> <td>42.9</td> <td>0.0</td> <td>(-14.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	28.0	52.0	16.0	4.0	(4.0)	今回	0.0	28.6	50.0	21.4	0.0	(7.1)	見通	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	(-14.3)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	28.0	52.0	16.0	4.0	(4.0)																							
今回	0.0	28.6	50.0	21.4	0.0	(7.1)																							
見通	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	(-14.3)																							
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>20.0</td> <td>56.0</td> <td>16.0</td> <td>8.0</td> <td>(-12.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>7.1</td> <td>14.3</td> <td>50.0</td> <td>21.4</td> <td>7.1</td> <td>(-7.1)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.0</td> <td>21.4</td> <td>42.9</td> <td>35.7</td> <td>0.0</td> <td>(-14.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	20.0	56.0	16.0	8.0	(-12.0)	今回	7.1	14.3	50.0	21.4	7.1	(-7.1)	見通	0.0	21.4	42.9	35.7	0.0	(-14.3)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	20.0	56.0	16.0	8.0	(-12.0)																							
今回	7.1	14.3	50.0	21.4	7.1	(-7.1)																							
見通	0.0	21.4	42.9	35.7	0.0	(-14.3)																							

※特積貨物の指数は、「宅配貨物」及び「宅配以外の貨物」の各指数を統合

6 事業者特性格別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

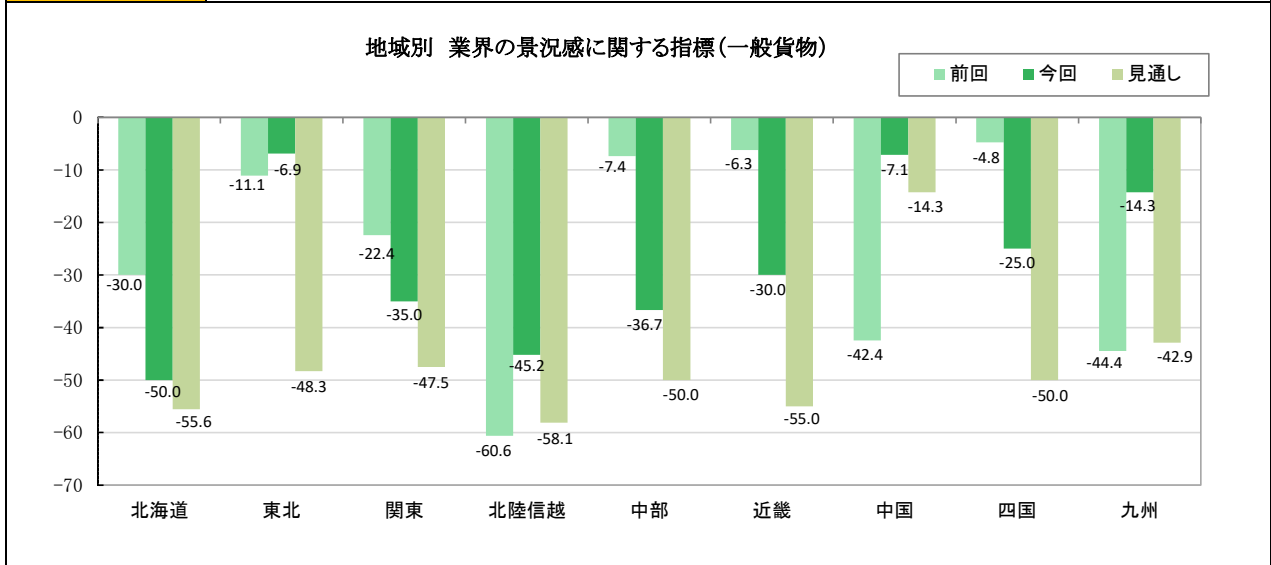
機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

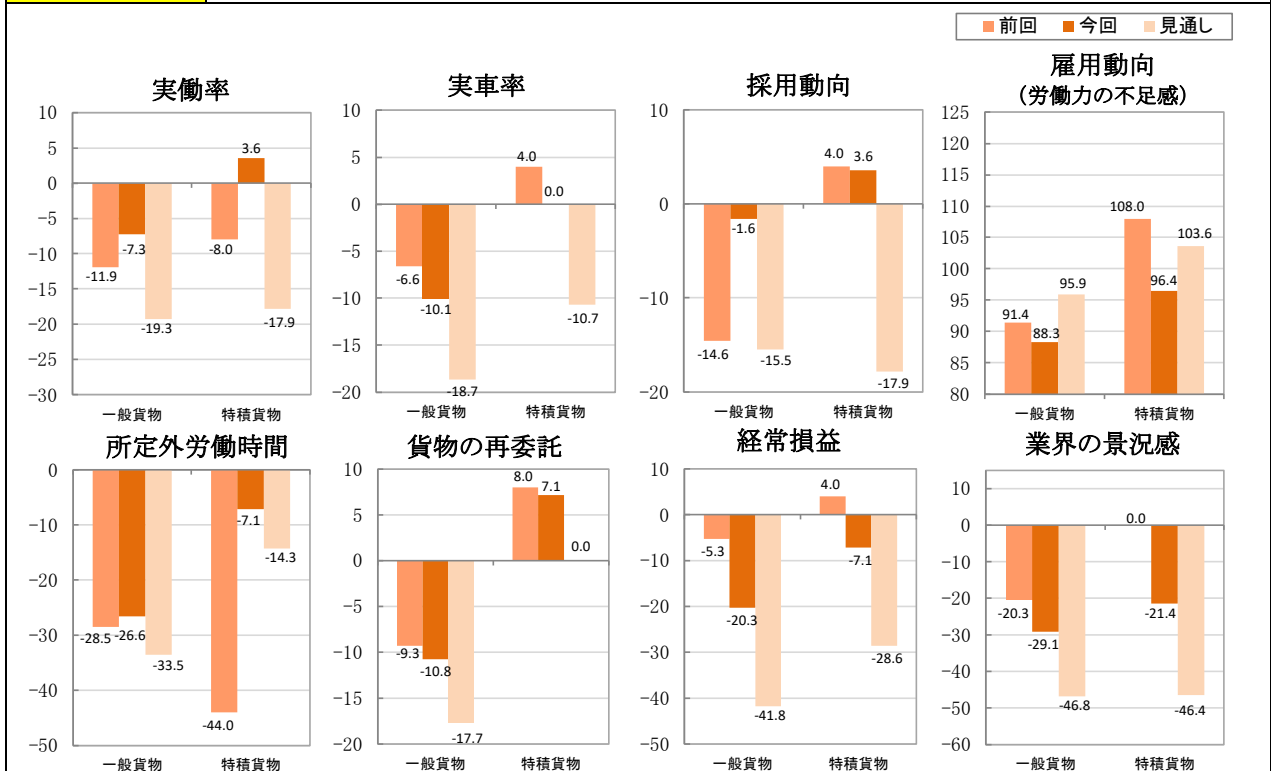
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性別の特徴②: 地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今期改善したのは、東北、北陸信越、中国、九州であり、悪化は北海道、関東、中部、近畿、四国である ・ 来期見通しは、全ての地域で悪化の見通しである。
-------------------	--



事業形態別 (注8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用動向: 一般貨物、特積貨物ともに、深刻な人材不足を反映し、労働力の不足感が強くなる見通しである。 ・ 経常損益: 中東情勢の影響により燃料価格が高騰し、原価が上昇したことから、経常損益を圧迫した。 ・ 業界の景況感: 一般貨物及び特積貨物では、燃料調達への不安、燃料価格動向への懸念を織り込み、景況感悪化傾向となった。
----------------------	---

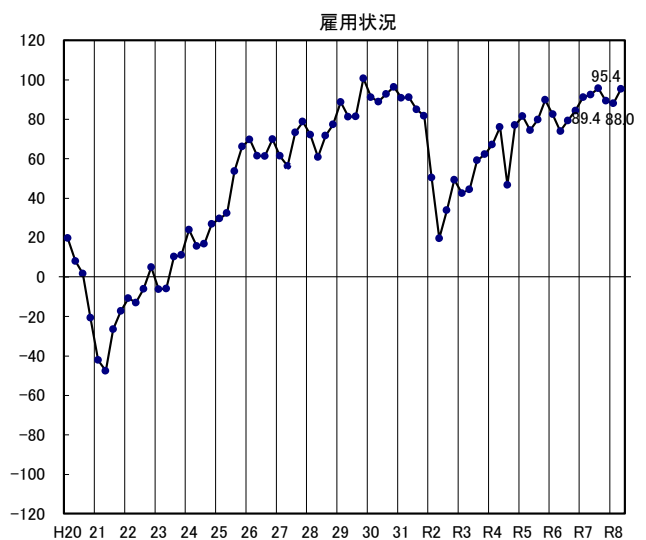
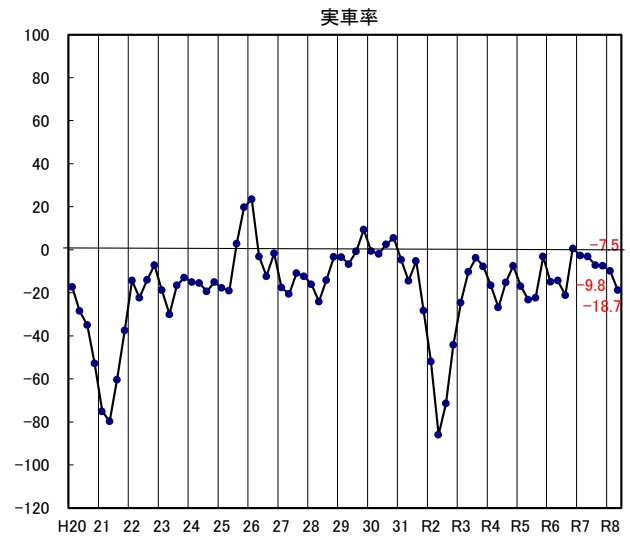
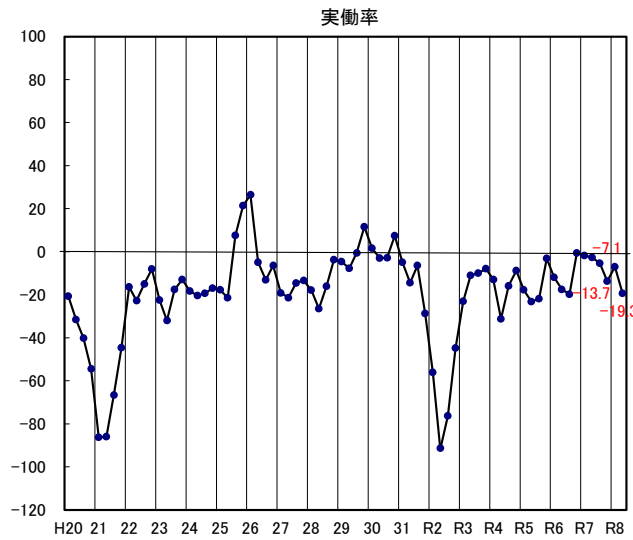


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「特積貨物」である。

8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第1四半期見通し)

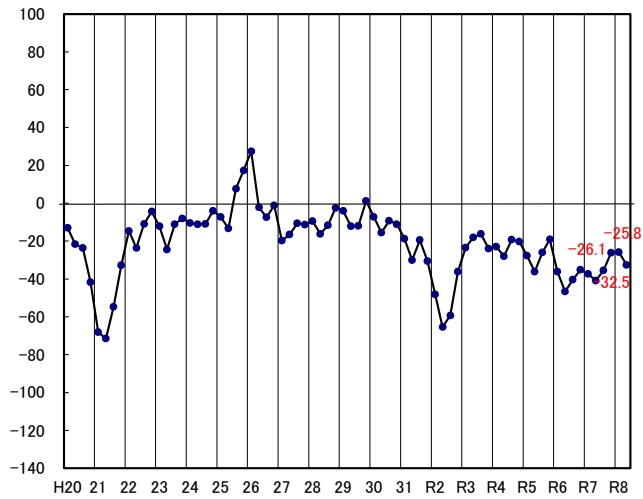
共通の概況①



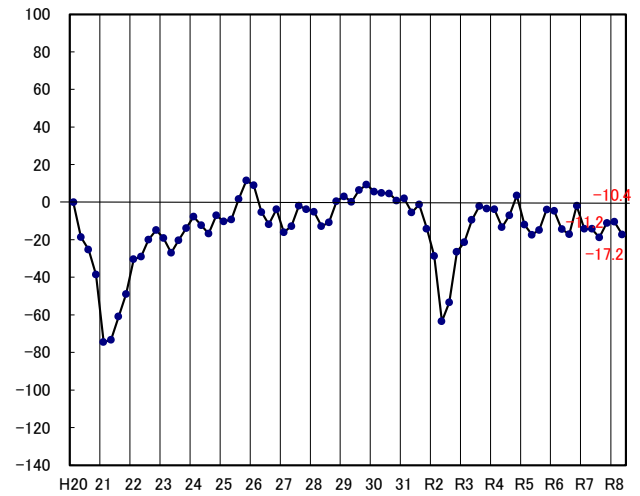
8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第1四半期見通し)

共通の概況②

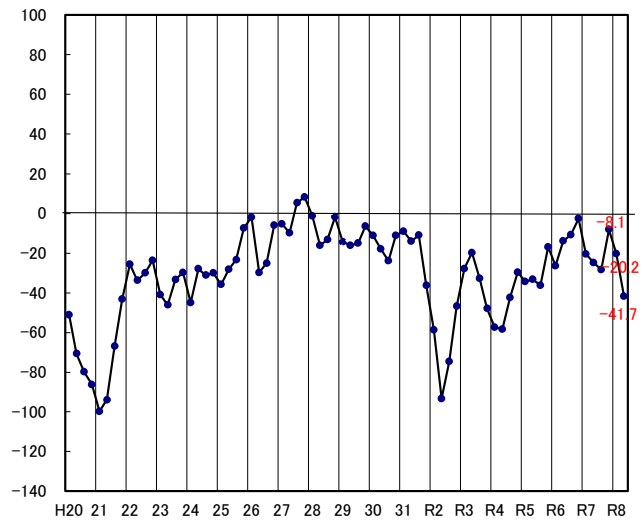
所定外労働時間



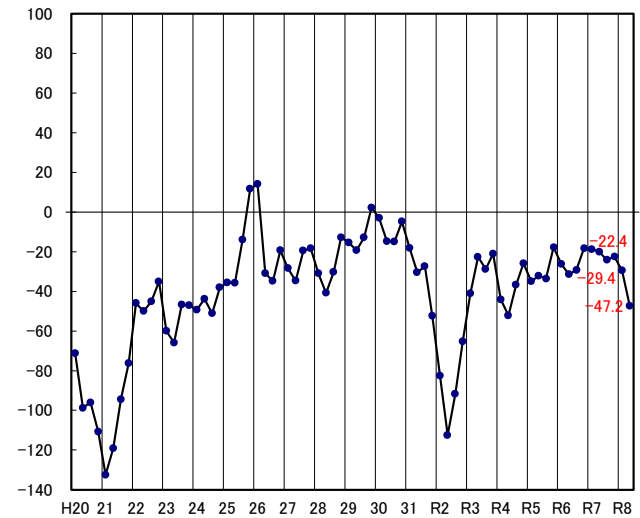
貨物の再委託



経常損益

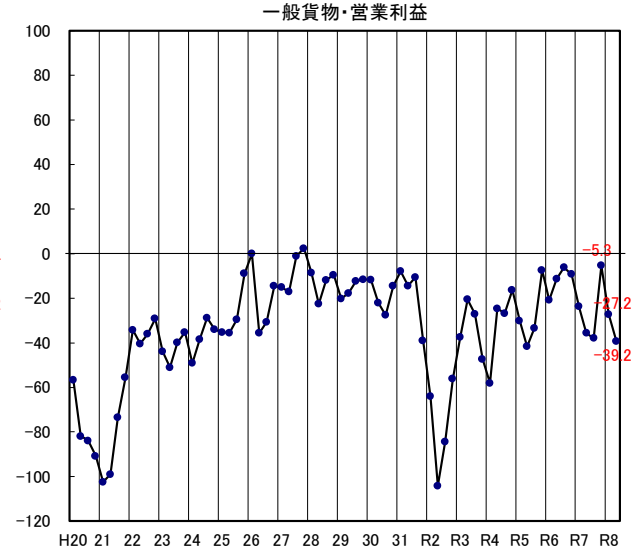
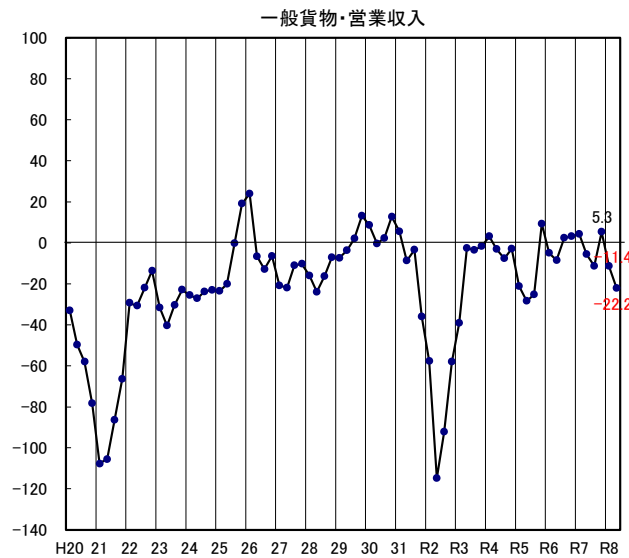
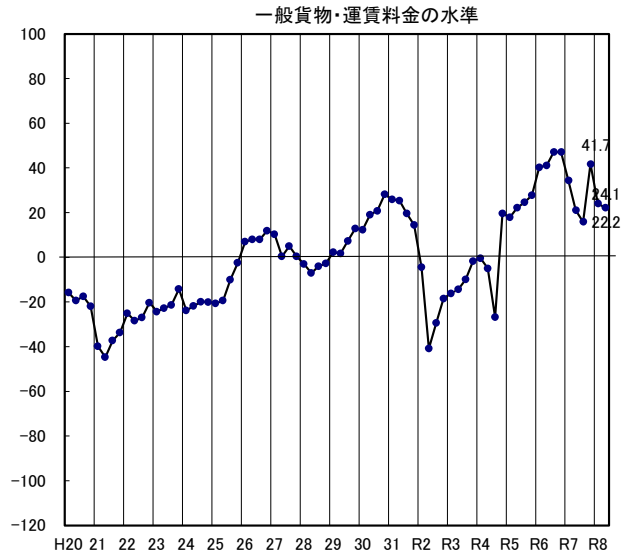
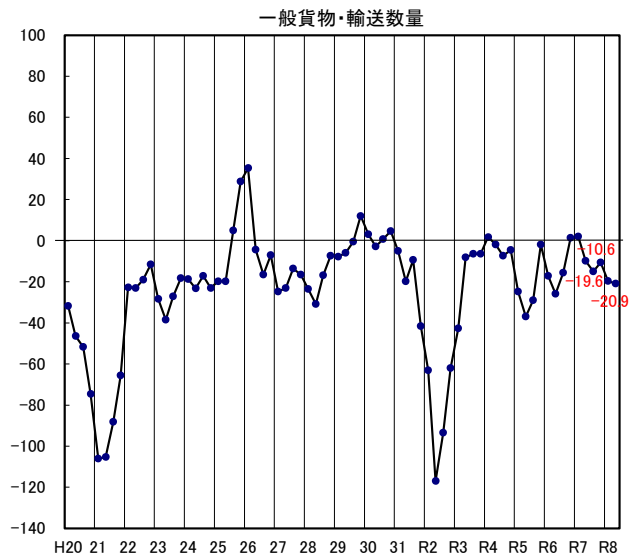


業界の景況感



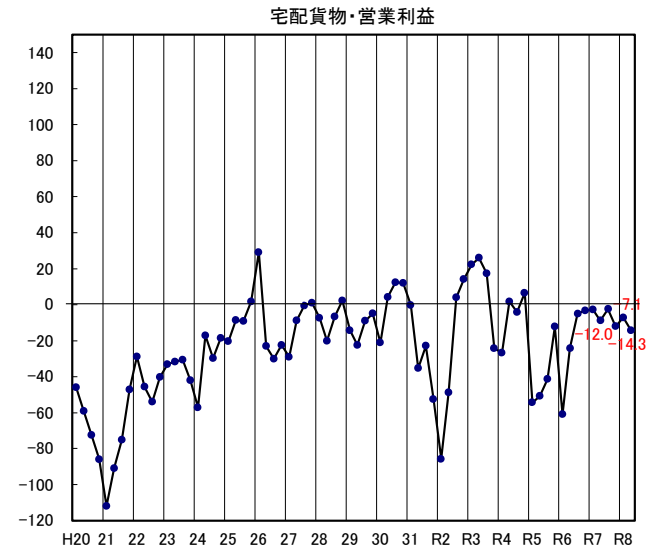
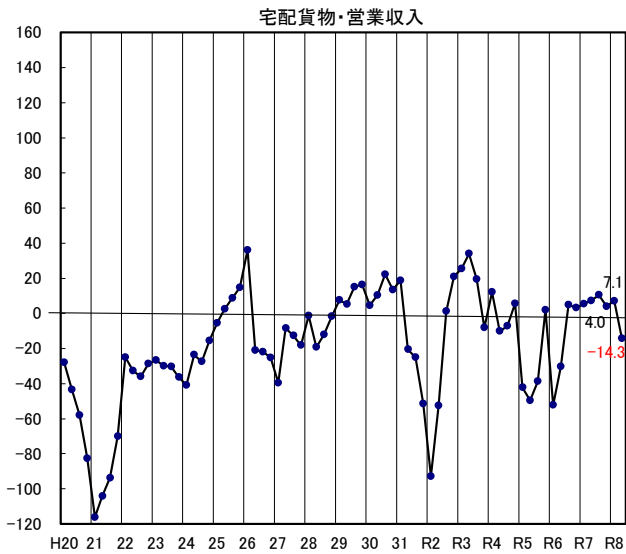
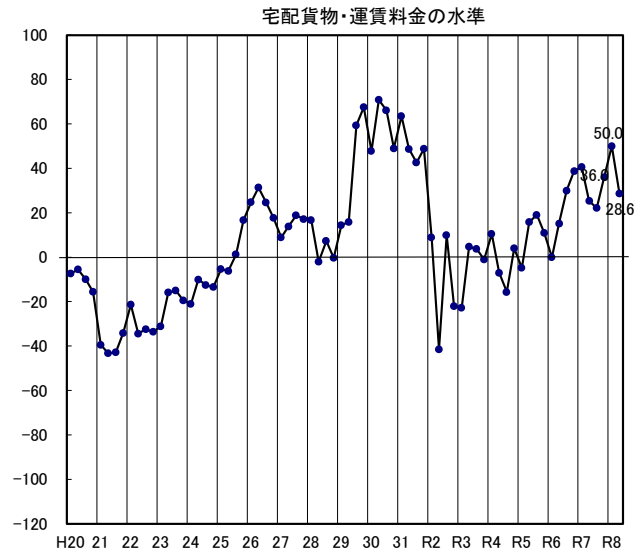
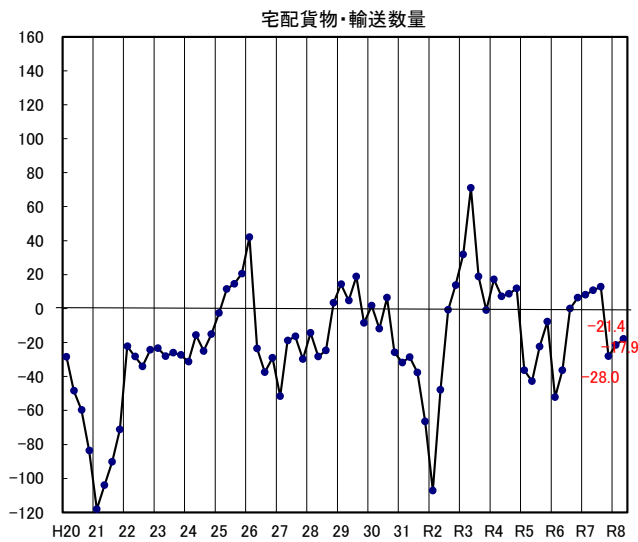
8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第1四半期見通し)

一般貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年度～令和8年度第1四半期見通し)

特積貨物



※ 特積貨物として「宅配貨物」及び「宅配以外の貨物」を統合